

藤花



迎春

本年も何卒よろしくお願い申し上げます

社会福祉法人 光養会 役職員一同



▲令和5年12月6日藤樹神社に絵馬奉納

目次

表紙	1
理事長のあいさつ	2
特別養護老人ホームふじの里 開設30周年	3
インフォメーション	4



社会福祉法人 光養会



◇発行元◇

社会福祉法人 光養会

特別養護老人ホームふじの里
(特養) ふじの里なごみの家
(特養) ふじの里ショートステイ
ふじの里デイサービスセンター
ふじの里ケアプランセンター
特別養護老人ホーム藤のれん
〒520-1223
滋賀県高島市安曇川町下小川13220-1
TEL. 0740-32-4165
FAX. 0740-32-3236
URL: www.kouyoukai-fujinosato.jp
E-mail: info@kouyoukai-fujinosato.jp



新年を迎えて

社会福祉法人光養会 理事長 橋本 辰美

新年を迎え、皆様方には益々ご清祥のことと、役員・職員一同心からお慶びを申し上げます。平素は、本法人施設・事業所の運営に多大なご支援をいただいておりますことに、心からお礼を申し上げます。

さて、昨年は、本法人を設立し「特別養護老人ホームふじの里」を開設してから、30周年を迎えることになりました。このため、「特別養護老人ホーム藤のれん」を新設整備し地域の高齢者介護ニーズに 대응することとしておりましたが、昨年7月1日に開設することができました。これもひとえに皆様方のご支援の賜物と心から感謝を申し上げます。

施設は、ユニット型40床で、居宅介護が困難となった高齢者の皆様が安心して生活できるよう、医療機関や在宅介護支援活動との連携のもとに、看取りケアの機能を一層強化した施設とし運営しております。ご利用につきましても、お気軽に施設までご相談いただけます。

ところで、本法人では、中期事業計画をもとに、



▲特別養護老人ホーム藤のれん玄関

地域社会の様々な課題に速やかな対応ができるよう、法人としての基盤づくりに取り組んでいます。

また、高齢者介護保険施設・事業所の基本理念に基づき、利用される皆様の視点からサービスの向上を目指すことはもとより、社会福祉法人の理念に立ち返って、地域社会の諸課題と向き合い、様々な具体的活動を展開することとしております。

こうした活動の一つとして、施設や事業所を介護活動の実践の場として広く活用し、福祉活動の体験や学習、介護の実習や研修などの事業にお役立ていただきたいと考えております。このため、こうした運営の方針を理解し、地域の皆様の活動との連携や支援が行えるよう、地域活動に対する視点や理解をもった職員の育成を図っていききたいと考えております。



▲安曇川高等学校生 介護実習受入

地域の皆様との連携のもとに、職員一人一人がやりがいと喜びを

感じて働けるよう、引き続き、法人運営の充実に努めていきたいと考えておりますので、皆様方には、本年も一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

歩行ケア測定機器の整備

こちらの歩行ケア測定機器は、光養会職員共済会で整備しました。職員の安全衛生教育、健康づくりに使用しています。

全職員一人ひとりに対して歩き方の分析と、歩行計測結果に基づいた歩行改善運動のご指導をいただきました。



▲歩行改善運動指導の様子



▲歩行ケア測定の様子

誠に恐縮ではありますが、2019年の9月賞状での年始の挨拶を控えさせていただきます。何卒ご了承くださいませ。よろしくお願い申し上げます。

ふじの里ふれまち地域交流事業の開催

昨年11月にふじの里ふれまち地域交流事業を開催しました。当日は350名を超える地域の皆様にご来場いただきました。ご協力いただきましたボランティアの皆様ありがとうございました。



ふじの里開設30周年を迎えて

「原点復帰から多様化するニーズへの取組」

特別養護老人ホームふじの里
特別養護老人ホームふじの里なごみの家
施設長 澤 和記

新年おめでとうございます。皆様におかれましては輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年4月にふじの里は開設30周年を迎えることができました。今日まで施設運営にご支援ご協力をいただきました地域の皆様、行政ならびに関係機関、職員、ご家族の皆様から御礼申し上げます。

30年を迎えた今年度は、原点復帰から、本会・本施設の理念の浸透とともにケアの基本である、ノーマルケア（※1）推進および研修体系を再構築し、職員による業務改善提案を積極的に取り入れるなど業務の効率化を推進しました。とりわけ、ケアの楽しさを伝えられ、教育・育成することができている職員づくりに取り組むことができました。これは新たな介護のカタチをつくるためのICT、介護テクノロジーの導入検討に向けた第一歩となりました。



▲クレドカード

次の10年を見据える中で、施設サービスをとりまく環境は大きく変化することが見込まれ、多様化する社会ニーズに柔軟に対応できる施設づくりが求められます。介護報酬改定の年でもある本年は、健康管理の原点で

利用者の皆様の楽しみの一つでもある施設の栄養バランスのとれた手料理を美味しく安全に召し上がっていただくために「食」のケアならびに「口腔衛生管理」「経口摂食維持」の充実に取り組めます。具体的には、医師、歯科医師、歯科衛生士と施設職員との多職種連携により、摂食・嚥下等の口腔機能・食形態・栄養状態の改善、誤嚥性肺炎予防などに向けて、話す、笑う、表情を作る、呼吸などの機能の維持・回復・増進のための訓練・運動・体操・マッサージなどに取り組んでまいります。



▲法定研修会の様子

職員が働きやすい職場環境づくりのための取組としてホワイト企業認定（※2）の取得をしている一方で、サービス面の取組では、「職員やその家族が入居したいと思える生活支援」ができるようホワイトサービスを推進していきます。

これからも施設をご利用の皆様が心豊かに暮らしていたげられるよう施設サービスの向上はじめ地域福祉の向上に職員一同努めて参りますのでご指導、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。



▲ホワイト企業プラチナ認定を受けました

※1 ノーマルケアとは、介護する側・される側双方において安全で安心な、持ち上げない・抱え上げない・引きずらないケアをノーマルケアと呼びます。
安全で安心な介護・看護を提供するためには、身体の間違った使い方を無くし、対象者の状態に合わせて福祉機器や用具を有効に活用し取り組むことが必要です。

※2 ホワイト企業認定とは、一般財団法人日本次世代企業普及機構（通称：ホワイト財団）が企業のホワイト化を総合的に評価する国内唯一の民間認定制度であり、このこと言う「ホワイト企業」とは、いわゆる世間で言われている「ブラック企業ではない企業」ではなく、「家族に入社を勧めたい次世代に残していきたい」企業を指しています。

祝 長寿



106歳 淵田 孝様
(滋賀県男性最高齢)

100歳 小島 きぬ様
熊谷 きみ様



▲高島市よりお祝いに来ていただきました。



特別養護老人ホームふじの里 開設30周年事業



▲滋賀県男性最高齢106歳 淵田孝様の展示



▲特養入居30年木戸きよ様の展示



▲ボランティアグループ「カノン」様のフルーツ演奏

Fujinosato Information

寄 贈

寄付金報告

令和5年7月16日～令和5年12月15日

橋 本 辰 美 様
下 小 川 区 様
中 村 仁 様
石 井 隆 夫 様

ご寄付有難うございました。
(順不同)

▶高島組仏教婦人会様より
タオルを寄贈いただきました。



▶特養入居者の家族様より
自動ブレーキ装置付車椅子
1台を寄贈いただきました。



赤い羽根共同募金



令和5年度赤い羽根共同募金による防災活動支援事業の助成決定をいただき、
防災ヘルメット55個と安全ベスト70枚を整備しました。



▲施設玄関前にて展示



▲ふれまち地域交流事業にて展示紹介

ふじの里行事予定(1月から3月)

月日	曜日	内 容
1月1日(月)		元旦、新春行事
1月4日(木)		藤花発行
1月11日(木)		おめでなし(通所) 3/1/6
2月3日(土)		新年祝賀会
2月5日(月)		ひな壇設置 3/4
2月22日(金)		ひな祭り
3月3日(日)		職員共済会総会

滋賀県社会福祉協議会感謝状



▲フリースペースなごみの家の活動を評価していただきました。

令和5年度 受賞者

全国老人福祉施設協議会20年表彰
吉原 亨

滋賀県社会福祉協議会会長表彰
清水 聖子

滋賀県老人福祉施設協議会会長表彰
仲野 裕美

滋賀県老人福祉施設協議会会長表彰
土井 良子

滋賀県老人福祉施設協議会会長表彰
勝藤 紀久江

滋賀県老人福祉施設協議会会長表彰
伊藤 孝典

滋賀県老人福祉施設協議会会長表彰
中村 直孝

滋賀県老人福祉施設協議会会長表彰
永田 弘香

滋賀県老人福祉施設協議会会長表彰
前田 有美

滋賀県老人福祉施設協議会会長表彰
吉原 亨

滋賀県民間社会福祉事業職員
共済会永年勤続表彰

(敬称略)
(順不同)

編 集 後 記

2024年の甲辰(きのえたつ)には、「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」といった縁起のよさを表しているそうです。ふじの里でこれまで行ってきた業務改善の取り組みが、成功という芽に成長し、1つずつ形になればと思います。

皆様にとりましても昇り龍などに描かれるように、勢いよく活気あふれる年になるよう、心よりお祈り申し上げます。

T.Y

設備更新 (業務改善提案)



▲介護ベッド20台を更新



▲ブルス(自動おしほり機)8台を整備



職員の業務改善提案が取り入れられ、(特養)ふじの里では排泄カート3台の更新と(特養)ふじの里なごみの家ではパソコンカート4台を整備しました。